



開催報告

- ・ お茶大女性リーダー育成塾: 徽音塾 特別講演
「女なら誰でもいいのか? —女性がリーダーになると何が変わるか」
- ・ 第33回IGLセミナー
「地域とグローバルをつなげる多様なリーダーシップ —杉並区の女性エンパワーメントの連鎖を解説しよう」
- ・ 第34回IGLセミナー
「鏡のなかのわたし—グローバル社会を生きる女性たちへのメッセージ」

文献ミニ紹介
あります。

徽音塾

- ・ 2023年度前期活動報告
- ・ 後期のお知らせ

お知らせ

- ・ IGLより

前期授業報告

- ・ お茶の水女子大学論
- ・ キャリア開発特論(基礎編)

2023年度後期IGL関連授業

- ・ 後期集中講座 2023年度「アカデミック女性リーダーへの道(応用編)」
- ・ 後期授業

お茶大女性リーダー育成塾: 微音塾 特別講演 (2023年6月3日)
「女なら誰でもいいのか?—女性がリーダーになると何が変わるか」



グローバルリーダーシップ研究所と微音塾の共催で、認定NPO法人ウィメンズアクションネットワークWAN理事長、社会学者で東京大学名誉教授の上野千鶴子氏を講師に迎えた微音塾特別講演「女なら誰でもいいのか?—女性がリーダーになると何が変わるか」を対面にて開催しました。上野氏は、女性リーダーを増やすのは何のためか? 女性リーダーが増えると何が変わるのかを俎上に載せた講演を行いました。

上野氏は女性議員が増えない理由を挙げるとともに女性議員比率の高い国は幸福度が高いことを指摘しました。同時に本講演のタイトル通り「女なら誰でもいいのか?」と問題提起し、男性への過剰同一化をおこす「名誉男性」的女性リーダーの存在を考察しました。さらに女性のリーダーが増えると何が良いのかを、平等と人権主義、社会的公正、効率性の向上、社会変革の観点から説明しました。ま

た、フェミニズムとは弱者が弱者のまま尊重される社会の実現がゴールと話され、今後の超高齢社会においては誰もが弱者になりうるため、安心して弱者になれる社会の実現に向けて、皆が当事者意識を持つことが大切だと強調しました。

当日は微音塾塾生やお茶大関係者だけでなく他大学の留学生なども多く参加して活発な議論が交わされ、会場は熱気に満ち溢れていました。参加者は上野氏のユーモアを交えた軽快な話に魅了され、「人の力を引き出すことがリーダーとして大切という言葉が印象に残った」「女性だからこそできることを諦めずに発信していくことの大切さを改めて感じた」といった前向きな声が多く寄せられました。

文責: 深澤 南土実
(グローバルリーダーシップ研究所 特任アソシエイトフェロー)

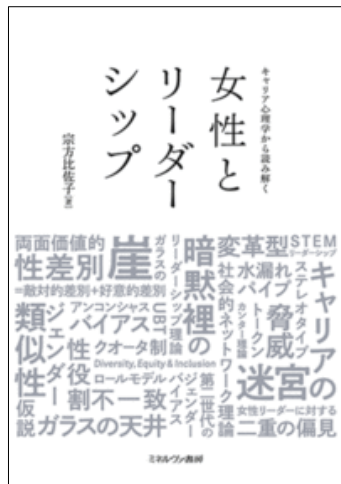


文献ミニ紹介

『キャリア心理学から読み解く 女性とリーダーシップ』(宗方比佐子著)が2023年4月にミネルヴァ書房から出版されました。「女性活躍」の議論とともに「女性リーダー」に関する社会的関心が高まっているのは周知の事実かと思えます。著者の宗方氏は1980年代後半に女性リーダーシップに関する先駆けともいえる研究を行っており、キャリア教育研究でも優れた業績を多数残しています。本書は3部で構成され、女性リーダーシップ研究の概観、主要理論、そして

関連する重要な理論を扱っています。本研究所が昨年国際シンポジウムを開催した「ガラスの崖」も本書のなかで紹介されており、他にも女性リーダーシップに関する良質な研究の数々が丁寧に解説されています。女性リーダーシップをこれから学ぼうとする方にぜひ手にとって頂きたい学術書です。

文責: 岡村 利恵
(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)



第33回IGLセミナー（2023年6月26日）

「地域とグローバルをつなげる多様なリーダーシップ —杉並区の女性エンパワーメントの連鎖を解説しよう」

岸本氏はまず、地方自治体を意味する municipality から来ているムニシパリズムは、自由や市民権を公的空間で拡大しようとする新しい政治、社会運動であると定義します。これまで政治に関心のなかった女性たちも参加してアイデアを出し合うなど、普通の人々が地域政治に直接参加することで市民として力を取り戻し、合理的な未来を検討するこうしたムニシパリズムの動きが杉並区ではじまっていることを指摘しました。講演では、動画資料などもふんだんに紹介され、杉並区発の共感の輪のひろがり概観されました。環境的・社会的正義、参加型民主主義、政治のフェミニゼーション、国際主義、気候危機の緊急性、ケアする人をケアする、マイノリティーの人権擁護、地

域のことは地域で決める、恐れぬ自治体といったことの他、海外の例についても言及があり、岸本氏が様々な地平を見据えていることが確認され、講演は盛会のうちに終了しました。質疑応答では、オンライン参加者のみならず対面参加者からも次々と手が挙がり、各々について岸本氏から丁寧な回答が得られました。セミナー終了後は、「非常に勇気づけられた」、「政治への参画に対して、これまでの認識をかえるもの」、「民主主義の原点にある対話の重要性に改めて気づくことができた」など、多くの感想が寄せられました。

文責：洲崎 圭子

(グローバルリーダーシップ研究所 研究協力員)



第34回IGLセミナー（2023年7月10日）

「鏡のなかのわたし—グローバル社会を生きる女性たちへのメッセージ」



国際的ヴァイオリニストであり、「アカデミア・ユリコ・クロヌマ」の創設者である黒沼ユリ子氏は、戦後日本の音楽界における第一人者であることにとどまらず、国際交流活動やメキシコでの音楽教育を推進しているグローバル女性リーダーです。

セミナーはハイブリッド方式により、「ヴァイオリンの家・日本メキシコ友好の家」を対面会場としました。黒沼俊子氏にもご協力頂き、本セミナーに合わせて黒沼氏所蔵のヴァイオリンをテーマとした展示が特別公開されました。

講演では、黒沼氏の多岐に渡る活動を、女性のライフイベントにそってお話し頂きました。黒沼氏の眼差しは全ての世代に向けられ、あたたかな語り口で綴られるお話は、日常生活に潜む差別や偏見 (microaggression) が多文化共生社会を阻む下地となりうること、いのちは一人で作ることができないという自然の摂理が少子化で悩む日本で看過されている矛盾、グローブな世界で共に生きるために人と

して考えることの大切さに及びました。そして、これらの課題に取り組むために、外からの目をもつこと、異文化社会理解のために言葉を磨くこと、楽しいと感じることに全力で取り組むことを提言されました。

申込者は100名超となり海外からの参加もありました。黒沼氏の自然体の言葉が参加者の共感を呼び起こし響き合うセミナーとなりました。

文責：倉脇 雅子

(グローバルリーダーシップ研究所 アカデミック・アシスタント)



お茶大女性リーダー育成塾：徽音塾 2023年度前期活動報告

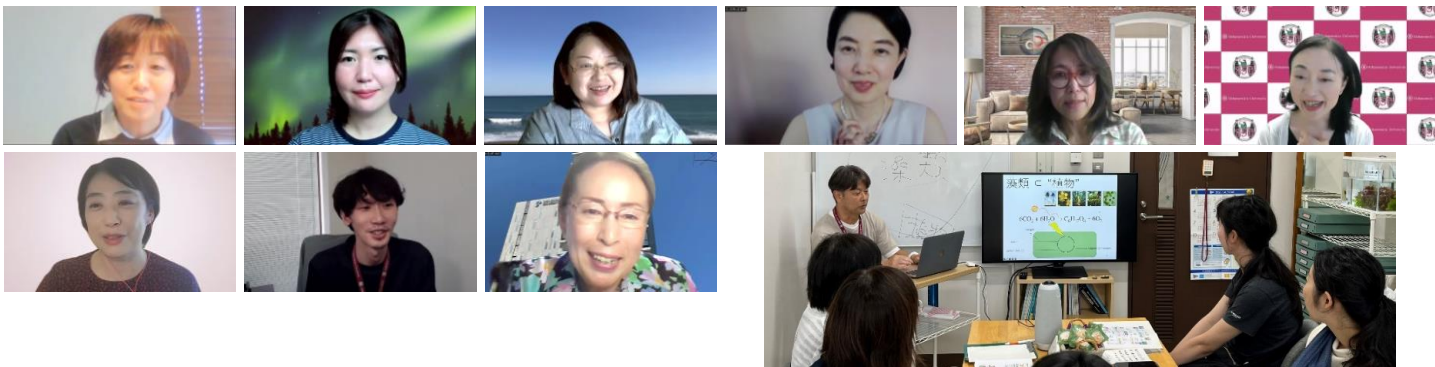
今年度の徽音塾は8月時点で新規塾生が過去最高の60名となり、塾生も延べ430名に達しました。塾生の年齢層は20代から70代まで幅広く、昨今のリカレント教育のニーズ拡大、社会的認知の高まりもあって、法人会員の申込も増加しています。

5～6月の「女性のエンパワーメントとリーダーシップ講座」は、女性をエンパワー、エンカレッジする様々な専門や業種の講師によって進められ、対面開催であった特別講演を含む前期開講科目には多数の申込がありました。7月から開講している「お茶大プロフェッショナルレクチャー」は、今年度も「SDGsについて学ぶ」をテーマとし、本学教員に

よるより専門的な講座として構成され、徽音塾初のハイブリッド開催(対面・オンライン)を成功させることもできました。8月にはビジネス講座も開始し、強い好奇心や問題意識を持って、意欲的に参加する塾生の姿が多く見られたことが印象的でした。

今後も塾生同士のネットワーク構築をはかる「オンライン・ネットワーキングランチ」などで塾生と交流をはかりながら、引き続き働く女性の学びに寄与する場を構築していきます。

文責：深澤 南土実
(グローバルリーダーシップ研究所
特任アソシエイトフェロー)



2023年5～8月開催の講座

(E) 女性のエンパワーメントとリーダーシップ講座、(P) お茶大プロフェッショナルレクチャー、(B) ビジネス講座

	開講日	講師	タイトル
5月	13日(土)	木村恵子	E01「自分らしく生きる—キャリアもプライベートも自分で選択する—」
	20日(土)	岡村利恵	E02「リーダーシップ、社会、そして私—ジェンダーと文化の視点で見えてくるもの」
	27日(土)	辰巳哲子	E03「多様なメンバーの持ち味を引き出すチームをどう作るか」
6月	17日(土)	小西雅子	E05「ピンチをチャンスに！私の出産後のキャリア形成」
	24日(土)	島津めぐみ	E06「変化する時代に、私らしいしなやかなキャリアを」
7月	1日(土)	赤松利恵	P01「私たちと地球の健康～食から地球環境を考えてみよう～」
	8日(土)	佐々木成江	P02「ジェンダード・イノベーションのすすめ～多様性を包摂する社会の実現を目指して～」
	15日(土)	髙田智	P03「生物の“多様性”から考える理想の未来像」*ハイブリッド
	22日(土)	三宅雄大	P04「「貧困とは何か？」を考えてみる」
8月	8月19日(土) 8月26日(土)	鹿住倫世	B01「新規事業開発に効く！ イノベーション創出の知識と視点」

お茶大女性リーダー育成塾: 徽音塾 後期のお知らせ



徽音塾は企業等で指導的立場に就くことを目指す女性、また多様な分野・立場でリーダーシップを発揮することを目指す女性を広く応援し、可能性を開花させるための学びとネットワーク構築の場を提供しています。詳細と各講座申込みは、徽音塾ホームページをご覧ください。
※「きいんじゅく」で検索も可能です。

2023年度 開催概要

- 時間: 13:30~16:40 (すべて土曜日)
- 形式: Zoomを使うオンライン講座
- ※ PCでの受講を推奨します
- ※ 1科目から受講いただけます
- ※ 各科目ともに開講週の月曜日が申込締切です
- ※ 最新情報はWebサイト、Twitterをご覧ください



Webサイト



Twitter

2023年9月~2024年2月開催の講座

お茶大プロフェッショナルレクチャー (P) 2科目、ビジネス講座 (B) 5科目を開講します。

	開講日	講師	タイトル	申込締切	入金締切
9月	2日 (土)	宝月理恵	P05 「〈健康〉と〈病い〉から読み解く近現代社会の課題」	8/28 (月)	8/31 (木)
	9日 (土)	水野勲	P06 「グローバル資本主義とホームとしての地球 (グローブ)」	9/4 (月)	9/7 (木)
10月	10月21日 (土) 10月28日 (土)	内藤章江	B02 「文字・声・画像が創り出す印象とコミュニケーションへの応用」	10/16 (月)	10/19 (木)
11月	11月4日 (土) 11月11日 (土)	神原理	B03 「マーケティング入門」	10/30 (月)	11/2 (木)
	11月18日 (土) 11月25日 (土)	松田有希	B04 「いちばんやさしい脱炭素社会 ~カーボンニュートラルの最前線~」	11/13 (月)	11/16 (木)
12月	12月9日 (土) 12月16日 (土)	櫻井康弘	B05 「会計基礎力を身に付ける - 取引記録の仕組みと企業活動の成績表 -」	12/4 (月)	12/7 (木)
2月	2月3日 (土) 2月10日 (土)	内藤忍	B06 「働くあなたを守る、知っておきたい労働法」	1/29 (月)	2/1 (木)

お知らせ

IGLより

◇2024年2月 国際シンポジウム開催 (予定)
グローバルリーダーシップ研究所では、毎年国際シンポジウムを開催しております。次回は2024年2月を予定しております。詳細はIGLのHPをご覧ください。皆様のご参加お待ちしております。

詳細はIGLのHP ⇒
をご覧ください。



お茶の水女子大学論

2023年度の「お茶の水女子大学論」は、全15回を対面形式で開催しました。受講生の人数は約150名でした。

本授業は、主に1年生を対象にしたキャリアデザインプログラムの基幹科目の1つの科目であり、導入的講座として設計されています。その内容は1) 学長講演、2) お茶の水女子大学の歴史、お茶の水女子大学生の特徴、学内のインターンシッププログラムの紹介、3) 企業や起業の基礎に関する講義、4) お茶大卒業生によるロールモデル講演と、5) 特別講演から構成されています。

佐々木学長による講演において、お茶の水女子大学の歴史を築いた方々の話、女性が教育を受けるのが難しかった時代についてが説明され、それを聞いた学生は、女子教育の重要性と、女子大学の存在の意義をあらためて考えることができました。苦勞してきた先輩の話も聞いて、勇気と挑戦する気持ちが高まるとともに、お茶の水女子大学生であることを誇りに思う多くの声が聞かれました。

専修大学商学部の鹿住倫世教授による講義では、就職活動と将来のキャリアを展望するにあたって欠かせない企業組織や起業というテーマが扱われました。そこで、企業戦略、女性と起業、雇用の特徴をはじめ、起業者に

占める女性の割合、お茶大卒業生の起業家などが紹介され、それらのテーマに対する学生の関心が非常に高まりました。

ロールモデル講演では、5名の卒業生に講義頂き、キャリア設計、リーダーシップ、ロールモデル、ワークライフバランス、女性の進出と活躍、女性の社会への関与と貢献などの様々なテーマが多様な角度から扱われ、学生の将来のキャリア選択に大いに参考になる内容を提供することができました。また、学生が様々な方のプレゼンテーションを聴けたおかげで、それらの内容だけではなく、プレゼンテーションの仕方、スキルなどについても学ぶ機会となりました。

なお、質疑応答の時間を設けたことにより、学生は授業に積極的に参加することができました。そうすることで、学生が自分の考えを整理し、多くの方の前で話す能力、他者に伝える能力も向上できたと考えられます。

文責：チンテザ・アンドレア・コリナ
(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)



キャリア開発特論(基礎編)

「キャリア開発特論」(基礎論)は、5月13日から隔週土曜日全5回にわたり、アクセンチュア社の全面的な協力の下で開催されました。授業では、多岐に渡る業界・分野を担当するアクセンチュア社員から、社会人の仕事術、企業の存在意義・組織編制・役職といった今後、就職を考えていく上で必要となる基礎的な知識を学びました。また、グループワークやアクティビティを通して、仕事の段取りを考えたり、ディスカッションのやり方を具体的に教わったり、

自分のキャリアプランとそれを達成するための短期・中長期的アクションプランの作り方などを習いました。学部1年から博士後期課程3年まで45名程度の学生が受講し、社会人として「働くこと」について考える良い機会になったと好評でした。

文責：倉光 ミナ子
(グローバルリーダーシップ研究所 副研究所長)

2023年度後期IGL関連授業

後期集中講座 2023年度「アカデミック女性リーダーへの道(応用編)」

院生の皆さん、必見!!

大学院共通科目 後期・集中講義
[23S0133]「アカデミック女性リーダーへの道(応用編)」

学振特別研究員を目指そう!!

～研究計画・資金調達・プレゼンのコツを学ぶ～

【対象】 博士前期課程・後期課程の学生 *聴講可(ただし、事前申込必要)

1日目 2024年1月25日(木) *共通講義棟2号館201室 10:00-16:30
・審査委員経験者等による講義
・日本学術振興会特別研究員による体験談および討論

2日目 2024年2月2日(金)10:00-16:30 *対面またはZoomによるオンライン
・応募書類作成実践 *教員・学振特別研究員からの個別アドバイス

3日目 2024年2月8日(木) 9:00-17:00 *人間文化楼大会議室(604)
・魅せるプレゼンテーション スキルアップ講座
池田 まさみ先生 (十文字学園女子大学教授)

*履修者(単位取得希望者)は、**原則3日間すべてに出席**してください
*聴講を希望する人(学部生等を含む)は、QRコードよりお申し込みください(※**2024年1月12日(金)17時**)

シラバスはこちらから  聴講申し込みはこちら  本講義の詳細はこちら 

【お問合せ先】グローバルリーダーシップ研究所 igl-juavvo@cc.ocha.ac.jp

本授業の主なねらいは、日本学術振興会特別研究員の研究の申請やプレゼンテーションにおける技能を高めることです。

授業の構成は以下の通りです。

1日目(2024年1月25日)に

- ・第1部『審査委員の経験をお持ちの先生による講義』
- ・第2部『日本学術振興会特別研究員等による体験談および討論』

2日目(2024年2月2日)に

・教員・学振特別研究員からの日本学術振興会特別研究員等の申請書(仮作成)の個別指導

3日目(2024年2月8日)に

・池田 まさみ先生(十文字学園女子大学教授)による魅せるプレゼンテーション スキルアップ講座

上記の内容を予定しています。(*授業の詳細は随時更新されますので、Webをご確認ください。)

対象者は、大学院(博士前期・後期)課程に在籍する全ての学生です。学振特別研究員への応募や外部資金獲得等に対して効果的な準備が行える授業内容です。積極的な受講をお待ちしております。

本講義の詳細は↓から



文責:チンテザ・アンドレア・コリナ

(グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)

後期授業

グローバルリーダーシップ研究所(IGL)では、2023年度後期に以下の授業の開講を予定しています。

学生の皆さんの積極的な受講を歓迎します。[表中の上から数えて2つの科目はCDP:キャリアデザインプログラム基幹科目です。]

授業名	開講時期	内容
女性のキャリアと経済 [23N0092] (学部) [CDP]	火曜 9・10限	社会の色々な分野でこれまでの価値観や制度に変化が生じている現在、この講義では本学学生が社会人としてキャリア形成をしていく中で直面するであろう経済・労働・テクノロジーなどの様々な問題について、どのような分野に進んだ場合でも活用し得る基本的な思考の枠組み(広い意味の経済リテラシー)を習得することに主眼を置きます。社会・経済の問題に広く関心があり、文系・理系といった枠に囚われずに物事を論理的に考える意欲のある学生の受講を期待します。
ダイバーシティ論 [23N0095] (学部2~4年生) [CDP]	火曜 7・8限	特に組織におけるダイバーシティに焦点を当てながら女性のリーダーシップについても学びます。ダイバーシティを推し進めるにはどのような「仕組み」が有効なのか、アクティブ・ラーニングやインタラクティブな授業を通じて履修生と一緒に考えます。
グローバル・リーダーシップ実習 I [23B2099] (学部) グローバル・リーダーシップ実習 II [23B2100] (学部)	不定期	グローバル・リーダーシップ実習 I ではリーダーシップとはそもそも何なのかを学び、その上で各人がリーダーシップを発揮するための学内プロジェクトを考案、実施します。グローバル・リーダーシップ実習 II ではイタリアのパヴィア大学の子カレッジ、Collegio Nuovoに滞在して、ソフトスキルを意識したリーダーシップ研修を行います。

